サポート情報記事

# Questions and Answers のコメント、@メンション、ディープ リンク

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

# 免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

## 免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

## 誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

## フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

## 「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

## お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

# 目次


概要 4

コメント 4

閲覧者に表示される内容 4

コメントの保存場所 5

@メンション 5

コメントできるユーザー 5

コメントをオフにする 6

ディープ リンク 6

リンクをコピー ボタン 6

リンクを開くと何が起こるか 7

ディープ リンクが役立つ場面 7

用語 9

# 概要

静的な FAQ を、みんなで一緒に使うものに変える機能が 2 つあります。**コメント**を使うと、閲覧者は回答のすぐ下にヒント、修正、追加の質問などを書き加えられます。**ディープ リンク**を使うと、誰でも 1 つのアドレスで特定の回答を同僚に示すことができます。この記事では、データの保存場所、誰が何をできるか、動作をどう制御するかを含めて、両方を詳しく説明します。　このバージョンで作成されるリストのフィールド名は、Title、Answer、Category、Link、VideoUrl、Contact、Order、Published のまま英語です。Web パーツやこの記事のローカライズされたラベルは、フィールド名を変更しません。作成コードは Title を Question に変更しません。

# コメント

## 閲覧者に表示される内容

**表示/非表示** グループで **コメントの表示** を *表示* に切り替えると、展開したすべての質問の末尾に　**コメント**　ブロックが表示されます。送信ボタン付きのテキストボックス *コメントを追加します...* と、その下に既存のコメント (投稿者の写真、名前、本文、相対時刻) が並びます。ヘッダーにはコメント数 (**コメント (4)**) が表示され、質問ヘッダーの吹き出しバッジは、コメントが 1 件以上あると色付きになります。

表示されるコメントは最大 5 件で、それより多い場合は **さらに表示** リンクで残りが表示されます。コメントがない場合、ブロックには　*コメントはまだありません。コメントを投稿する最初のユーザーになりましょう。* と表示されます。




*コメント ブロック*

## コメントの保存場所

コメントは、質問のリスト アイテムの **コメント**です。リストでアイテムを開き、コメント ウィンドウを展開したときに表示されるものと同じコメントです。リストの外には何も保存されません。その結果、次のことが成り立ちます。

- Web パーツで書いたコメントはリストに表示され、リストで書いたコメントは Web パーツに表示されます。
- コメントの通知は SharePoint が制御します。Web パーツ自体は通知メールを送信しません。
- 質問を削除すると、そのコメントも削除されます。

## @メンション

SharePoint リストのコメント ウィンドウで **@** を使って同僚をメンションしたコメントは、Web パーツでは名前が**ライブ プロファイル カード**として表示されます。ポインターを合わせると、連絡先の詳細とチャットおよび通話のボタンを含む **Microsoft 365** のカードが開きます。Web パーツ自体のコメント ボックスはプレーン テキストのボックスです。誰かをメンションするには、リストでコメントを書いてください。**@** を入力すると SharePoint がユーザー選択を表示します。 共有プロファイル カード コンポーネントを読み込めない場合、メンションは通常の **@** 名前 として表示されます。

## コメントできるユーザー

コメントへのアクセスは、元のリスト アイテムのアクセス許可に従います。追加や削除には対応する SharePoint のアクセス許可が必要です。標準の **投稿** と **編集**

の権限レベルにはアイテムの編集が含まれます。閲覧専用のユーザーにも入力欄が表示される場合がありますが、SharePoint は投稿を拒否します。質問の作成には、別のアイテム追加権限が使用されます。SharePoint は既存のコメントの編集をサポートしていません。

## コメントをオフにする

2 つのレベルがあります。

- **Web パーツに対して - 表示/非表示** で **コメントの表示** を *非表示* に設定します。ブロックとバッジがページから消えますが、コメントはリストに残ります。
- **リストに対して** - リストを開き、**設定 → リストの設定 → 詳細設定 → コメント → いいえ** を選択します。 SharePoint が新しいコメントを受け付けるかどうかを制御します。この設定に応じて Web パーツが入力ボックスを非表示にすることはありません。既存のコメントは引き続き表示される場合がありますが、投稿は SharePoint によって拒否される場合があります。

メモ

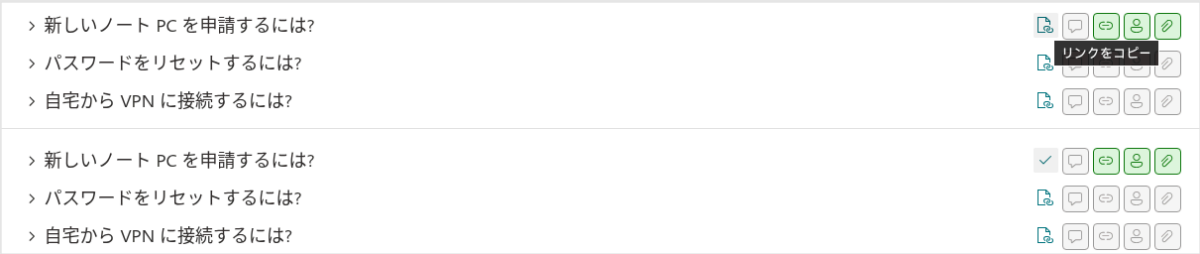
コメントは議論のためのものであり、回答を維持するためのものではありません。コメントで回答の誤りが指摘されたら、編集者は **Answer** 列を更新してください。回答にざっと目を通す閲覧者はコメントを読みません。

# ディープ リンク

## リンクをコピー ボタン

**動作** グループで **リンクをコピー** が有効になっていると、すべての質問ヘッダーにポインターを合わせたときにリンク ボタンが表示されます。クリックすると、現在のページのアドレスにパラメーター `?questionId=<ID>` を付けたものがクリップボードに書き込まれます。`<ID>` はリスト アイテムの ID です。確認のため、アイコンは 2 秒間チェック マークに変わります。

アドレスは `https://contoso.sharepoint.com/sites/intranet/SitePages/FAQ.aspx?questionId=42` のような形になります。チャット、メール、チケット、別のページに貼り付けることができます。




*リンクをコピー ボタン*

## リンクを開くと何が起こるか

ページが `?questionId=N` で開かれると、次のことが起こります。

1 Web パーツは通常どおりリストを読み込みます (ページ単位の読み込みがオンの場合は最初のページ)。
2 質問 *N* がなく、最初の応答に次のページがあることが示されている場合、公開済みの質問を個別に取得し、設定された順序で一覧に追加します。
3 質問は、**既定で折りたたむ** の設定に関係なく**展開**されます。
4 ページはその質問まで**スクロール**し、質問は一時的に**強調表示**されます。

接続先のリストにその ID の公開済み質問がない場合は、何も起こりません。ページにはナレッジ ベースが通常どおり表示されます。したがって、ディープ リンクによって未公開の質問が明らかになることはありません。

リンクは Web パーツの読み込み時に処理されます。リンクをコピー を無効にしても非表示になるのはコピー ボタンだけです。選択中のカテゴリによって対象の質問が非表示になる場合があります。ID はリスト内でのみ一意のため、異なるリストで同じ数値 ID を持つ複数の Web パーツでは、それぞれの質問が強調表示される場合があります。未読み込みの質問を個別に取得するのは次ページのトークンがある場合だけです。検索結果にはそのトークンがありません。

## ディープ リンクが役立つ場面

- **サポートとサービス デスク** - 回答を打ち直すのではなく、用意済みの回答へのリンクでチケットに返答します。ユーザーはまさに適切な場所に到達し、周囲のナレッジ ベース全体も確認できます。
- **オンボーディング チェックリスト** - チェックリストの各ステップを関連する質問にリンクします。
- **お知らせとニュース** - 「出張ポリシーが変更されました。更新された回答はこちらをご覧ください。」
- **Teams** - チャネルにリンクを貼り付けます。ブラウザーで質問が展開された状態

で開きます。

リンクは、質問が ID を保持している限り有効です。回答を編集してもリンクは変わりませんが、質問を削除して再作成すると変わります。 ページの URL と接続先リストも変更されておらず、閲覧者のアクセス権が維持されている必要があります。

# 用語

**Microsoft 365**

Microsoft 365 は、Word、Excel、PowerPoint、Outlook などの生産性アプリと、SharePoint、OneDrive、Teams、Exchange Online などのクラウド サービスを、高度なセキュリティおよびデバイス管理と組み合わせた、クラウドベースのサブスクリプション サービスです。